「広島県建設分野の革新技術活用制度」登録技術の活用事例

様式２

技術名称：ニュージャストショット工法

登録事業者：東興ジオテック　株式会社

①　技術概要・概要図

・ニュージャストショット工法は高強度特殊モルタルを用いた吹付工です。

・落石発生源対策の接着根固め工、岩盤接着工、亀裂充填工に適用可能です。

・優れた耐酸性を有し、温泉地周辺などの酸性環境下における法面保護工として適用できます。



②　設計・施工等の概要

項目	概　要
年　度	令和7年度
発注機関	島根県益田県土整備事務所
事業名	（主）新南陽津和野線（Ａ９６６工区）防安交付金（災害防除）工事
対象地	島根県鹿足郡津和野町　地内
工　期	令和7年4月22日～令和7年10月31日
数　量	高強度特殊モルタル吹付工 V=18.3m3

③　活用に至った現場条件や経緯

崩壊跡の岩盤斜面上にある巨礫群（浮石）への落石対策で、以下の理由から接着根固め工が適していた。
・斜面の風化が進行しており、削孔を伴う工法は安全性の面で適用が困難であった。（ネットエ、アンカーエなど）
・対象浮石の下部には未崩壊の比較的健全な岩盤を確認
・現道との離隔がないため、擁壁工での対応も適していなかった

④　活用効果（本事例における効果）

・斜面上にある巨礫群を健全な岩盤に接着根固めすることにより滑動と転倒に対する安全率を確保することができた。
・斜面上での削孔を行わなかったため、作業員の安全性が向上した。
・斜面上で施工が完結することにより、現道への影響もなく落石対策が実施できた。

⑤　活用状況写真







